

ザ ペア 新しいブランド「The Pair」を立ち上げ、奈良県産の靴下をアピール

奈良県靴下工業協同組合 奈良県大和高田市

奈良県はストッキング、タイツなどを除く国内産ソックスの約6割を生産する国内No.1の生産地であるが、そのことはあまり知られていない。そこで、奈良県靴下工業協同組合（理事長：喜多^{きた}輝^{てる}昌^{まさ}氏）は全国トップシェアを誇る奈良県産の靴下をアピールするために、新ブランド「The Pair」を立ち上げた。ブランドの開発は、「県内の生産の多くがOEM（相手先ブランドでの生産）であったため、消費者との接点が少なく、奈良からの情報発信が十分にできていなかった」（喜多理事長）という反省を踏まえたものである。

「特別な一足」を意味する「The Pair」は消費者の生活場面に応じた3つのカテゴリがある。それは、フィット感がありスポーツやビジネスに最適な「さむらい」、カジュアルシーンに適した「おでかけ」、室内などくつろぐ場で履く「いやし」の3つ。また、ブランドのコンセプトは「履き心地やデザインなどで人の心を満たし、着用することで『毎日の暮らしがワクワクする』個性が生きた靴下」である。

同組合では従前より独自の品質基準を設けており、組合員企業が製造する靴下のうち、一定の基準を満たしたものを「奈良産」として認定している。「The Pair」と認定されるには、伸縮性や摩擦への耐久性など約20項目において「奈良産」よりも厳しい基準をクリアしなければならないが、その分、高機能、高品質な製品である証とされる。このように「The Pair」は、高いグレードに位置することから、同組合では奈良産の「フラッグシップブランド」と位置づけている。

また、2種類の「緑」と誠実なイメージの「白」を基調とするロゴマークも商品の開発と合わせて作成された。緑と白は、奈良県面積の多くを占め、豊かな自然と四季を与えてくれる森林や田畑とお

いしい空気の中でのびのび仕事ができる奈良の靴下産地を表現する。

同組合は、今年の12月22～25日に東京・日本橋の「奈良まほろば館」で展示・求評会を開き、県産靴下の技術力の高さや品質の良さをアピール。来場者アンケートを実施したほか、モニターを募り実際に履いてもらい意見や評価を求めた。来場者からは「今すぐに購入できないか」、モニターからは「友人に勧めたい」といった声も多く聞かれ、評価は上々だった。

東京での来場者やモニターの調査結果に加え、平成28年1月には県内大学の学生にも意見を求め、若い人の考えを吸収した。今後、それら进行分析しながら、さらに改良を加えて商品化を進める。そして、平成28年秋の展示・発表会を経て、平成29年春頃から、組合ウェブサイトなどでの販売を予定している。

喜多理事長は「完成度の高いものを提供し、『靴下といえば奈良』と消費者に自然とイメージされるように『The Pair』の認知度を高めていきたい」と今後の意気込みを語る。（丸尾尚史）



「奈良まほろば館」での展示・求評会の様子（左上、右上）と新ブランドのロゴマーク（左）

奈良県靴下工業協同組合

〒635-0015 大和高田市幸町2番33号

TEL: 0745-22-5000

URL: <http://www.apparel-nara.com/>